

# 西小だより 春夏秋冬あっちこち

第20号  
平成29年9月1日  
桐生市小曾根町1-9  
桐生市立西小学校

## おもいやり集会 8/31(木)

この集会は、昨年まで《いじめ防止集会》という名称でした。しかし、「いじめ」という言葉には、マイナスのイメージが付きまとい、何か冷たくて暗い気持ちにさせます。そこで、昨年度の集会で、未来に向けて夢や希望が持てる、心が温かくなるような違う名称を考えてみてくださいという提案をしました。そうしたら、児童会運営委員会が《おもいやり集会》という、シンプルですが、とてもいい名称を考えてくれました。



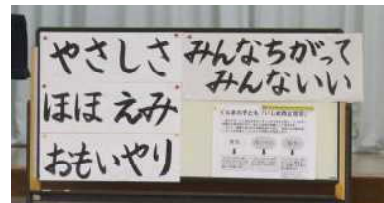
最初に各学級の標語[裏面に掲載]が発表されました。どれも誰もが気持ちよく過ごせるように、幸せに生活できるようにという願いが込められた、素晴らしい標語でした。

本校の人権教育が目指すところは、〈みんなちがってみんないい〉キーワードは、「やさしさ」「ほほえみ」「おもいやり」です。

人が十人いれば、十の顔があり、百人いれば百の顔があります。背が大きい人もいれば、小さい人もいます。絵が上手な人がいれば、歌が得意な人もいます。計算が速い人がいれば、漢字をたくさん知っているという人もいます。個性、持ち味といます。みんなが違っているのが当たり前で、それが人間です。違っているからこそ、いろんなことが体験できるのです。

だから〈みんなちがってみんないい〉なのです。そして、大事にしてもらいたいこととして「やさしさ」「ほほえみ」「おもいやり」の3つをあげました。

「思いやり」。この言葉は、平成25年8月、小学生・中学生・高校生の代表が集まって開かれた『群馬県いじめ防止サミット』で決められた【ぐんまの子どもいじめ防止宣言】の中にも「勇気」「思いやり」「協力」としてあげられています。



### ぐんまの子ども「いじめ防止宣言」

私たちは、いじめは必ずなくすことができると信じ、いじめの問題から目を背けずに、私たち自身の問題として考えます。そして、笑顔にあふれた学校生活のために、自分から行動を起こすことを約束し、ここにいじめ防止を宣言します。

勇気

思いやり

協力

わたしたちは、困っている人がいたら、自分のこととして考え、進んで行動します。

わたしたちは、相手のことを思い、お互いを大切にします。

わたしたちは、周りの人とのよい関係をつくり、何事にも全員で取り組みます。

平成25年8月18日  
群馬県いじめ防止サミット

《おもいやり集会》は、自分だけでなく、すべての人がすべての人を人として大切にすれば、きっと、世の中から「いじめ」なんていう、マイナスな言葉がなくなるということを願って開いている集会です。各学級の標語を自分のものとしてしっかり守っていきましょう。

みんなが標語のような気持ちや態度で学校生活を送れば、きっとみんなが仲良くなって、明日もまた登校したいと思う、毎日が楽しくてたまらない、今よりもっとすばらしい学校にできると思います。やさしさ、ほほえみ、おもいやり。みんなちがってみんないい。それが私たちの西小学校です。



## 各学級の標語

- 1-1 たくさんお話してみたら いっぱいあるよ いいところ
- 1-2 大きな声で笑ったら みんな笑顔になれるんだ
- 2-1 みんなの笑顔があつまれば いじめなんかこわくない
- 2-2 みんなでつなごう 笑顔と 人を思う気持ち
- 2-3 友だちの いいとこさがし してみよう
- 3-1 考えて! 相手の気持ちと 自分の言葉
- 3-2 言わないよ 自分がされたら いやだから
- 4-1 いじめはね 人の笑顔を なくすんだ
- 4-2 いじめゼロ 笑顔があふれる 楽しいクラス
- 5-1 一人一人のやさしさで 心の花を咲かせよう
- 5-2 一言で よい未来へと つながろう
- ひかり いじわるやだよ 心が傷つくよ やさしくね
- 6-1 考えよう 相手の気持ち 自分の言葉
- 6-2 みんなでね 思いやりの木を 育てよう



## いじめ防止フォーラム

平成29年度桐生みどり地区いじめ防止フォーラムが、8月23日水曜日に開催されました。このフォーラムは、夏休み中に群馬県全体で地区ごとに開かれ、今年度は笠懸公民館を会場に、桐生みどり地区の全中学校・高等学校と各中学校区の小学校1校及び特別支援学校の代表者が参加して行われました。中央中学校区からは、今年、本校の代表が出席し、「普段の生活の中からいじめを考えよう」をテーマに、10班に分かれて、自校のいじめ防止活動の報告や意見交換等をしてきました。

グループは、協議がしやすいように、小学生、中学生、高校生が入り交じる4~5人の編制です。

まず、ピアサポートで簡単なゲームをして、初対面の心をほぐした後、幹事校の桐生工業高校の生徒が、日常生活の中で起こりがちな事例を、テーマに沿った寸劇に構成し披露しました。それをもとに登場人物の言動等に着目しながら「いじめ」について考え、討議し、まとめるという形で進められ、最後に県教委指導主事から、どの班も、寸劇の内容を自分のこととしてとらえ、活発に議論をしていてとてもよかったという講評をいただきました。

また、児童生徒の協議と並行して、保護者は「ネットいじめと情報モラル」について、教職員は「いじめの認知」について、それぞれ講義を受け、意見交換をしました。近年、最も問題となっているのが、ネットに端を発するトラブルであり、そこから発生するいじめです。いじめの認知についても、



保護者



教職員

法改正がありました。最新の情報を得るために勉強することは、教員として、保護者として、とても大切であり重要なことです。よい機会になったことと思います。なお、このフォーラムの様子は、群馬テレビ「はばたけ!ぐんまの子どもたち」[10月21日(土)8:00~8:30]で放映される予定となっています。